

· 二 ·

國朝文忠公集

卷之三

此皆見人所遺，多是心外物。此雖可得，然亦非人所遺也。故曰：「子雲之賦，成於家學。」

詩經卷第

本間の入院は、入院後は、その間も、常に、

(四) 少數幹部ノ專制獨裁

(六) 行フ處ハ組合ヲ私的團体化セントシツ。アルコト  
内争費用、ノテ、主ニ要旨ヲ具ダシ

其ノ内容説明トシテハ左ニ要點ヲ與ゲン  
→今回同盟ノ分裂ニ基因ハ左ト右ト

(一) 今回總同盟ノ分裂ニ基因ハ左ト右ト謂フモノハ自身ノ身  
ノ置キ處ニヨツテ決定サレル問題デアル總同盟幹部ハ漸  
自ラ右ヘ右ヘト進ミナガラ昨日迄ノ同志ヲ自己ノ音志通  
リニ頃使出來ザル時ハ容赦ナク左翼清算ノ一語ノ下ニ昨日  
ノ同志ヲ葬リ去ル事既ニ三回ニ亘ル大分裂ヲ見タ此ノセ  
事ハ團說ヲ本意トスル勞働運動上ノ肯德デアル

(二) 大阪聯合會分裂ノ原因シタ鈴木・本山・月曜會ノ存在ハ

西尾末廣氏ガ聯合會長當附カラ在ツタニ不拘西尾、君ハ其ノ全責任ヲ山内新命長ニ背ワシメタ而モ總同盟本部ノ態